

ボッチャ競技会実施要項

1. 競技規則

本大会は「日本ボッチャ協会競技規則2017-2020 V.1」並びに本大会申し合わせ事項に基づいて行う。

2. 参加区分

立位と座位に分ける。ただし、障がい、男女、年齢の区分を問わない。

3. 服装

運動に適した服装とする。

4. 招集

(1) 招集は競技場内で行い、競技進行により放送で招集するので競技役員の指示に従う。

(2) 招集完了時間は、試合開始の10分前とする。

5. 入退場

競技場への入退場は、競技役員の誘導により行う。

6. 練習

受け付けを済ませた後、開会式の合図があるまではウォームアップコート内での練習を許可する。コートは当日指示する。

7. 競技方法

(1) チーム編成

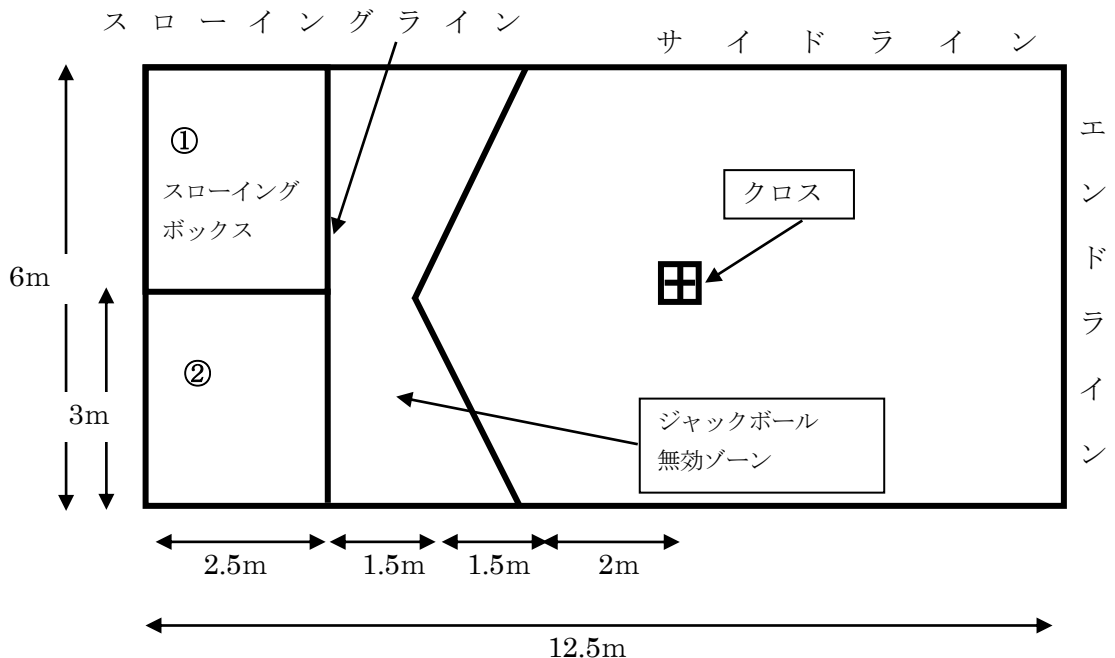
1チームの編成は、プレーヤー2名以上6名以内とし、立位と座位に区分する。

立位のチームの中に、一部座位のプレーヤーがいる場合あり。

(2) コート

12.5m×6mのコートで行う。

選手は2.5m×3mスローイングボックス内でプレーする。



(3) 用具

①ボールは合成皮革製で周長直径 270 ± 8 mm、重さは 275 ± 12 gとし、主催者側で用意する。

②ジャックボール1球と赤・青のカラーボールそれぞれ6球の13球使用する。

③ランプのサイズは支柱を含め最大にした状態でスローイングボックスに収まる範囲の大きさでなければならない。ランプ自体にボールを射出するような装置を取り付けた

り、照準器を取り付けてはならない。

- ④ボール及びランプをチームが準備し、使用したいとの申し出があった場合は、上記①～③に合致するものであれば使用して構わない。

(4) 競技の流れ

- ①赤・青チームをじゃんけんかコイントスなどで決める。
- ②チームごとに赤または青のスローイングボックスに入って投球する。スローイングボックスにはプレーヤー及び介助者のみ入ることができる。自チームのスローイングボックス内であればどこから投げてよいが、投球時に体やランプがスローイングラインを踏んではならない。
- ③先攻（赤チーム）は1番目の人がジャックボールを投げ、次に赤ボールをジャックボールに近づけるように1球投げる。
- ④後攻（青チーム）は1番目の人がジャックボールに近づけるように1球投げる。
- ⑤以降はジャックボールに遠いチームが審判の指示板に従って順番に投球する。
※自チームの指示板が出ている時は、チーム内でどこに投げるか相談するなどコミュニケーションを取ったり、コート内を見に行ってもかまわない。
- ⑥ジャックボールから遠いチームの手持ちボールがなくなったら、ジャックボールに近いチームの手持ちボールがなくなるまで投げる。
- ⑦投球したボールが外に出た場合は、アウトボール（エンドが終了するまで除外）となる。
- ⑧ジャックボールが当てられて外に出た場合はクロスに戻される。
- ⑨赤・青両チームのすべての手持ちボールを投球し終わったら得点を数え、1エンドが終了となる。
- ⑩1エンドの得点の付け方
- ジャックボールの一番近くにボールがあるチームが勝ちとなる。
 - ジャックボールの一番近くにある、負けたチームのボールまでの距離を半径として円を描く。その中に勝ったチームのボールが何個入っているかを数えて、その数を得点とする。
 - 赤・青共に同じ距離にあればそのボールの数を両チームの得点とする。
- ⑪2エンド目以降は、エンドごとに先攻・後攻を入れ替えて競技を行う。
- ⑫試合は予選2エンド、決勝4エンド行い、その合計得点により勝敗を決定する。得点合計が同点の場合はタイブレークを行う。じゃんけんかコイントスで先攻後攻を決め、ジャックボールをクロスに置いて1球ずつ投げる。その結果ジャックボールにより近いチームを勝ちとする。
- ⑬順位は、勝ち数 → 得失点差 → 総得点数の順で決める。

(5) ペナルティ

- ①投球時に体やランプがラインを踏んだ場合、1球のペナルティボールが相手サイドに与えられる。ただし、審判または副審は、投球前に体やランプがスローイングラインを踏んでいることに気づいた場合は出来る限り指導を行い、ペナルティを回避するよう努める。
- ②ペナルティボールはエンドの最後に投球される。審判は得点を記録し、すべてのボールをプレイングエリアから取り除いた後、投球するサイドに指示板で投球を指示する。
- ③ターゲットボックスの枠のラインに触れることなく内側に停止した場合、1点加算される。
- ④両チームにペナルティボールが与えられた場合、与えられた順に投球を行う。

(6) 競技時間

- ①予選は立位1エンド5分として2エンド、座位1エンド10分として2エンド行う。主審、副審は競技時間を計測し、競技の途中であっても立位10分、座位20分で終了することとし、その時点で勝敗を決める。
- ②決勝は4エンド行い、競技の途中であっても立位20分、座位40分で終了することとし、その時点の合計得点により勝敗を決定する。